

出題意図

英語：

各専攻において研究を進める上で必要な英語の読解力を有しているかを判断するために、英語の語彙力、文法力、理解力を総合的に評価する。具体的には、各専攻に関わる内容の 300 語から 500 語程度の英文を示し、英和辞書を用いて、全文和訳をさせる問題を出題する。

小論文：

各専攻において研究を進める上で必要な知識と能力を有し、博士論文をまとめる潜在能力を有しているかを判断するために、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価する。具体的には、それぞれの分野における現代的課題を提示し、その課題について、1000 字程度で意見を論じさせる問題を出題する。

合否判定基準

英語、小論文、及び口述試験に、それぞれ合格最低基準を定める。

英語、小論文、及び口述試験の結果を総合的に評価して、合否判定を行う。

総合社会情報研究科	受験番号	ふりがな	
総合社会情報 専攻		氏 名	

博士後期課程

試 験 問 題

日本大学大学院総合社会情報研究科

試 験 科 目 名	施 行 年 月 日
小 論 文	令和 7 年 2 月 1 5 日（10 時 50 分より）

次の問題（１）（２）（３）から一つを選び、日本語 1,000 字程度で解答してください。なお、解答用紙の冒頭には、選んだ問題の番号を必ず明記してください。

- （１） 最近の経済情勢を踏まえて、賃金引き上げに関する議論が盛んに行われています。賃金増加の影響について、個々の企業や労働者への効果と、経済全体への効果に分けて論じてください。この際、キーワードとして、必ず「物価上昇」と「中小企業」に触れてください。
- （２） 社会のグローバル化が進展する中、英語一辺倒の日本の外国語教育に対し、高校段階から英語以外の外国語教育を推進する動きがあります。高校で複数言語を学ぶことについて、賛同できる点とできない点を示しながら、あなたの考えを論じてください。
- （３） 科学的な研究に関する研究不正行為には、人として問題と考えられる重大なモラル違反のみでなく、問題とっていなかったような行為（例：仮説が支持されるまでデータ数を増やし続けること）も研究不正行為に含まれています。そのような行為として、上記の例以外にどのようなことが考えられるか具体的に示し、 それについてどのような対応をすべきか具体的な対策を示してください。

解答は解答用紙に記入すること。

令和 7 年度 博士後期課程
英語

引用文献に関する
著作権を確認中